



小坂志川本流遡行&湯場ノ沢下降



T. A

◎山行日：2019.8.24 日帰り 単独

◎天気：晴れときどき曇り

◎主なコース：笹平～小坂志川本流～万六尾根～湯場ノ沢下降

最近ではボルダリングのジムが多いので、たまには沢にでもと思い計画した。久しぶりなので、過去に行ったところ・小ぶりで楽しそうなところと考え小坂志川にした。JR 武蔵五日市駅からバスに乗り笹平で下車。

【笹平から入渓点までの林道】

笹平バス停すぐのところにある「市道山・臼杵山」への道標に従って、南秋川にかかる橋を渡る。小坂志川左岸の林道を進み、10分ほどで市道山への登山道を分ける。

しばらく行くと右側から下降に使う湯場ノ沢が流入してくる。さらに進みウルシェ谷沢の出合を過ぎて数分で入渓点に到着した。笹平から50分ほどであった。



(小坂志川本流入入渓点)

【小坂志川本流遡行】

林道より沢に降り、遡行を始める。すぐに大きな釜を持った3mほどの幅広い滝があらわれる。泳ぐ気力がわかず左から巻いた。このあとトウノ木沢・キツウ谷沢を分けるが、その少し先にロープが張られ「上部林道工事のため危険、通行ご遠慮願います」という看板が下がっていた。

少し迷ったが、上部がどのようなになっているかと思いきのまま進んだ。結果的には特に問題はなく稜線まで出られたが今後どうなるかはわからない。(確かに、万六尾根から工事中の林道が少し見えた。)

この後も釜や淵を持つ小さな滝が連続し気持ちよく順調に進んだ。雨が多かつたせいか水量が多く、釜や淵を越えるのに苦労した。前回よりも巻いたところが多かつた。特に二俣のしばらく手前にある淵を持つ2m滝は右壁の水中にホールドを拾って滝に取付く楽しいところであるが、今回はずぶ濡れになりながらどうにか越えることができたという始末であった。その後、二俣を右に入りナメ滝や4m曲がり滝を過ぎ、しばらくすると伏流となった。

源頭の斜面はグズグズ(雨のため?)で、すぐそこに尾根が見えているのになかなか到着せずかなり足にきた。



(3m幅広ナメ滝)



(淵を持つ2m滝)

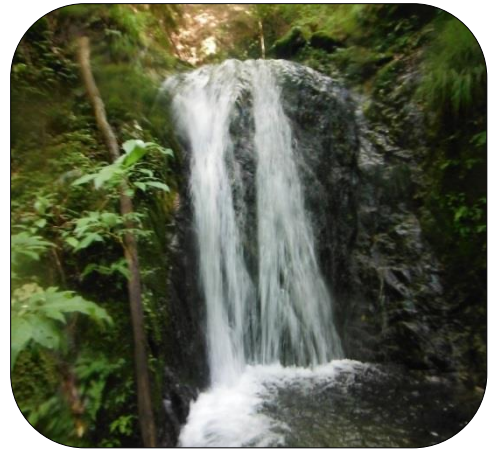
【万六尾根～湯場ノ沢下降】

連行峰（山）で休憩し万六尾根に入った。最初のピークを越えた辺りから斜面を下っていくのだが、緊張感が足りなかったためか通り過ぎてしまった。変だと思い戻ったりしたので 15 分ほどロスをしてしまった。（このことが予定のバスに乗り遅れる原因となった）

もう一度落ち着いて地図など確認し下降に入った。斜面を下っていると登ってくる 3 人パーティーに出会った。間違えてはいないとわかり一安心。

水流が現れ、1 時間弱で核心部の連瀑帯に出た。トイ状の水流を突っ張ったりしながら下るのでまたもずぶ濡れになった。その後も小滝が続くが、水量が多くクライムダウンできず懸垂で処理したところが 2 カ所ほどあった。

最後はのんびり歩き、鉱泉跡を過ぎたところで林道に架かる橋（小坂志川との出合）に着いた。



（下部の釜を持った滝）

※どちらも滝自体は小さいがナメ滝や深い釜・淵が多く、
今回も楽しんで遡行することができた。

【コースタイム】

林道・・・笹平 740→市道山への分岐 750→湯場ノ沢出合 818→ウルシェ谷沢出合 828～入渓点着 832

沢・・・小坂志川遡行：入渓点発 855→キットウ谷沢出合 921→二俣 1036～45→連行峰（山）1211～20

湯場ノ沢下降：下降点 1300（15 分ロス）→核心部連瀑帯 1400→ナカノ万六沢出合 1410→

トバノ万六沢出合 1425→林道 1441

（了）